

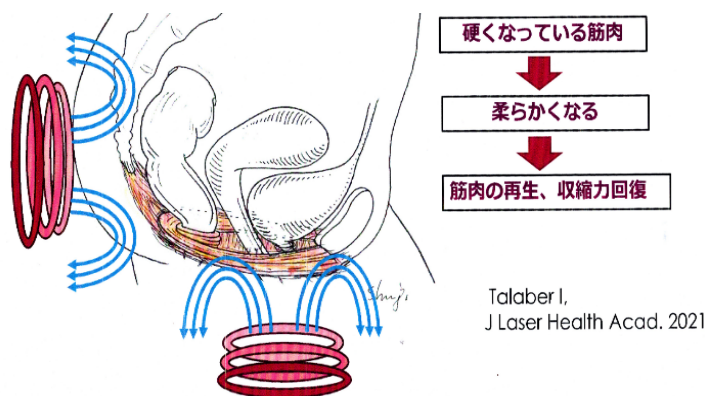
頻尿、尿失禁に対する高強度テスラ磁気治療器・

スターフォーマーの治療成績

石井クリニック¹⁾、 JCHO埼玉メディカルセンター²⁾、都立広尾病院³⁾

石井泰憲¹⁾、叶山 美夏¹⁾、大林 万里子¹⁾、有馬 香織¹⁾、三浦 真世¹⁾、古畑 優衣¹⁾、安部芳紀²⁾、石井 元³⁾

スターフォーマーは侵襲がなく、骨盤のインナー筋の強化する器械です。頻尿、尿失禁の31例に使用。OABSS、IPSS、ICIQ-SFで効果を判定。治療前後で、改善傾向を示したので、報告する。筋肉の収縮を刺激するためにパルス磁気エネルギーを利用し、インナー筋肉を強化し、マッスルトーンを整え、筋肉を引き締める作用を利用して、骨盤底筋、尿道括約筋、膀胱平滑筋など、神経を適正に調整し、血管も刺激し血流の改善し、頻尿、尿失禁を改善するとされている。磁気刺激は皮膚刺激がなく、疼痛なく、安全な治療法である。



磁気刺激・治療器

対象（2024年2月～6月）、平均年齢：70.9歳（40～84）、男性；10例、女性；21例。

腹圧性尿失禁8例、切迫性尿失禁6例、膀胱瘤5例、前立腺摘出後の尿失禁5例、ED3例。

治療成績は、切迫性尿失禁に対しては中等症では治療4回後から効果が出始め、夜間頻尿の有効例が多く認められた。腹圧性尿失禁に対しても有効性がみられた。中等症以上の場合8回では不十分で、追加の治療が必要なことがある。膀胱瘤はペッサリーリングを装着後治療で、尿失禁の改善が認められた。前立腺摘出後・尿失禁は、経過が長い重度の失禁には効果がなかったが、症状改善傾向例もあり、期待されている。EDに対しては高齢者でなければ、非常に有効な症例もみられた。

日本の女性下部尿路症状治療ガイドラインで、電気刺激療法が推奨グレードBなのに、磁気刺激療法は推奨グレードAで、今後、期待されている治療法である。

まとめ

- ① 患者の印象は、好評である。
- ② 疾患別の治療成績も、良好な傾向である。
- ③ 副作用は認めなかった。